

検討の観点別にみた特色

	観点	教科書の特色
範囲	●取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	●多様なジャンルから精選された教材によって必要な内容が十分に扱われており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。
程度	●教材は、生徒の心身の発達段階や能力の実態に適切しているか。	●歌唱教材においては生徒の心情的な発達段階に応じた楽曲を、器楽教材においては技術的に平易な楽曲を取り上げている。また、鑑賞教材においては着眼点を明確に示すなど、生徒の能力の実態に即した適切な内容になっている。
内容	●教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。 ●基礎的・基本的な内容を学習するうえで適切であるか。 ●説明文やイラスト、写真などは、学習を進めるうえで適切であるか。 ●生徒が興味・関心をもち、主体的、創造的に学習活動に取り組めるよう工夫されているか。 ●「創作」に関わる学習活動が適切に取り扱われているか。 ●我が国の伝統音楽や音楽文化に対する配慮はなされているか。	●明確な学習の観点のもと、幅広く変化に富んだ学習活動を行うことのできる教材が用意されており、生徒が興味・関心をもって意欲的に学習を進めることができるよう配慮されている。 ●教材の内容と関連付けて、基礎的・基本的な内容を学習できるよう、さまざまな参考資料が収録されている。また、鑑賞においては楽曲の特徴が分かりやすく解説されており、確実に学習活動を進められるよう配慮されている。 ●説明文は平易な言葉で書かれており、その配置も工夫されている。 ●イラスト、写真の取り上げ方もアイディアにあふれ、音楽的感覚の育成や知的理解の深化に配慮されている。 ●生徒の興味・関心を引き出すための問いかけを「吹きだし」の形で示し、生徒が主体的に学習活動を進められるよう配慮されている。 ●創作の手順を具体的に示し、生徒が創造的に学習活動を進められるよう配慮されている。 ●創作活動においては、生徒の能力に応じて進められるよう配慮されている。 ●小学校、中学校における「音楽づくり」「創作」の学習内容や、学習指導要領に示された指導事項を踏まえながら、時間的、能力的に無理なく取り組める教材が、具体的な手順を踏んで取り上げられている。 ●歌唱教材においては、古くから歌い継がれている曲を「心の歌」と題して取り上げており、器楽教材においては楽器の奏法などについて分かりやすく解説している。また、鑑賞教材においては伝統芸能や郷土の芸能を取り上げており、音楽的側面からだけではなく文化的側面からも、生涯にわたって我が国の伝統音楽や音楽文化に親しめるよう配慮されている。
全体の構成	●教材は系統的、発展的に組織されているか。 ●小学校、中学校における学習内容との系統性、一貫性について配慮されているか。 ●各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮がなされているか。 ●教材の配列は単なる羅列ではなく、楽曲の性格に即して適切であるか。 ●教材の分量は適切であるか。	●目次及び本文中に示された学習目標に基づいて、系統的に教材が配置されており、確実に学習を進められるよう配慮されている。 ●小学校、中学校の義務教育における音楽科の目標の上に立った内容の教科書となっている。 ●歌い継いでいきたい日本の歌が、「心の歌」と題して小学校、中学校から一貫して取り上げられている。 ●大きく表現領域と鑑賞領域に分かれているため、学習の深化や相互の関連付けを容易に行うことができ、各学校や生徒の実態に応じた柔軟な学習指導計画を立てられるよう配慮されている。 ●分野ごとに平易な曲を中心として教材が配列されており、学習の理解や深化を図りやすいよう配慮されている。 ●精選された教材が過不足ない分量で扱われており、各学校や生徒の実態に応じて柔軟な対応ができるよう配慮されている。
記述	●ユニバーサルデザインへの配慮がなされているか。	●全体に区別しやすい配色を用いながら、必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。
人権	●人権教育、国際理解、情報、環境など、社会的及び道徳的教育課題の扱いについては、適切な配慮がなされているか。	●全体を通して、人権教育に対する適切な配慮がなされている。また、歌唱教材や鑑賞教材においても、諸外国の音楽文化に対する理解を深めることができるよう配慮されている。 ●音楽に関する知的財産権について、「音楽の著作権について知ろう」という視点で、分かりやすく解説されている。
体裁	●全体の体裁は教科書として適切であるか。 ●印刷・製本などは適切であるか。	●A4変型判で楽譜が見やすく、紙面のレイアウトも統一感があり、教科書として適切なものとなっている。 ●教科書の内容をイラストで表現した表紙からも高校生に対するメッセージが感じられるよう工夫されており、音楽に親しみやすい体裁となっている。 ●カラーページとモノクロページに分かれたすっきりした紙面であるとともに、楽譜、文字、イラスト、写真などの印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。 ●製本は長期の使用に十分耐える堅牢なものとなっている。 ●再生紙を使用し、リサイクル可能な表紙加工を施すなど、環境に十分な配慮がなされている。

年間指導計画例

芸術科の 目標	芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
------------	--

学 習 指 導 要 領 (抜粋)	内 容	
	A 表 現	
	表現に関して、次の事項を指導する。	
	(1) 歌唱	
	ア 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメージをもって歌うこと。	
	イ 曲種に応じた発声の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して歌うこと。	
	ウ 様々な表現形態による歌唱の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して歌うこと。	
	エ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して歌うこと。	
	(2) 器楽	
	ア 曲想を楽曲の背景とかかわらせて理解し、イメージをもって演奏すること。	
	イ 楽器の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して演奏すること。	
	ウ 様々な表現形態による器楽の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解し、表現を工夫して演奏すること。	
	エ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して演奏すること。	
	(3) 創作	
	ア 音階を選んで旋律をつくり、その旋律に副次的な旋律や和音などを付けて、イメージをもって創造的に音楽をつくること。	
	イ 音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成を工夫して、イメージをもって創造的に音楽をつくること。	
	ウ 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、イメージをもって創造的に変奏や編曲をすること。	
	エ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して音楽をつくること。	
	B 鑑 賞	
	鑑賞に関して、次の事項を指導する。	
	ア 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを理解して鑑賞すること。	
	イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを理解して鑑賞すること。	
	ウ 楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴について理解を深めて鑑賞すること。	
	エ 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めて鑑賞すること。	

月	領域(分野)／ 配当時間	題材名	題材のねらい	学習指導要領 内容の指導事項												内容の 取扱い	
				A表現						B鑑賞			音楽を形づくっている 要素				
				歌 唱		器 楽		創 作		ア イ ウ エ							
				ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ		
4 5 6 7	表現(歌唱)／ 4時間	歌詞に込められた思いや 作曲者の意図を理解し、 表現を工夫して歌おう	歌詞に込められた思いを感じ取り、楽譜 から作曲者の意図を読み取って、表現を 工夫して歌う	●	●	●	●									音色、リズム、速度、旋律、 テクスチャ、強弱	I(3)
	表現(歌唱)／ 3時間	イタリア語のアリアを歌 ってみよう	イタリア語の発音に注意して、イタリアオ ペラのアリアを表情豊かに歌う	●	●	●	●									音色、リズム、速度、旋律、 強弱	I(3)
	鑑賞、表現(歌 唱)／6時間	義太夫節の特徴を感じ 取り、日本の伝統文化 に親しもう	義太夫節の歴史や特徴、文楽『一谷嫩軍 記』《組討の段》のあらすじを理解して鑑賞 し、義太夫節《組討の段》を語る	●	●	●	●					●	●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、 強弱	II(1)、II(2) I(3)、I(4) I(7)
	表現(器楽)／ 3時間	リズムの特徴を感じなが ら楽器の音色を工夫し て合奏を楽しもう	各パートの役割に適した音色の楽器を選 び、スウィングのリズムを感じてノリのよい 合奏をする					●	●	●	●					音色、リズム、旋律、 テクスチャ、強弱、構成	I(3)
	鑑賞／4時間	特定のイメージを呼び 起こす旋律を聴こう	多くの作品において死や不安を暗示する 部分に用いられてきたグレゴリオ聖歌の《怒 りの日》の旋律を感じ取る									●	●	●		音色、リズム、速度、旋律	I(6)
	創作／6時間	音素材や音階の特徴を 生かして音楽をつくろう	音素材や音階の特徴を生かして、朗読、 演劇、映像などの場面の雰囲気合った BGMをつくる							●	●	●	●			音色、リズム、速度、旋律、 テクスチャ、強弱、形式、 構成	I(2) I(5) I(8)
9 10 11 12	鑑賞／6時間	斬新なリズムと響きによ る表現を感じ取ろう	『春の祭典』のリズムと和音の特徴を理解 して鑑賞し、初演当時にこの音楽やバレ エの振り付けについて書かれた批評記事 を参考にして、自分の意見をまとめる									●	●	●		音色、リズム、速度、旋律、 テクスチャ、強弱、構成	I(6)
	表現(歌唱、器 楽)／4時間	シューマンの合唱曲を 歌おう	歌詞の内容を理解し、曲調の変化を感じ 取りながら、曲にふさわしい声で歌う	●	●	●	●	●	●	●	●					音色、リズム、旋律、 テクスチャ、強弱、構成	I(3)
	表現(器楽)／ 6時間	和楽器で合奏しよう	篠笛、鈴、太鼓を組み合わせ、曲想を 生かして和楽器の合奏をする					●	●	●	●					音色、リズム、速度、旋律、 テクスチャ、強弱、構成	I(3) I(4) I(7)
	鑑賞／3時間	『平家物語』を題材にし た能と平家を味わおう	文楽『一谷嫩軍記』《組討の段》と同じ『平 家物語』の「敦盛最期」を題材にした能や、 平家の鑑賞を通してその特徴を理解する									●	●	●	●	音色、リズム、速度、旋律、 テクスチャ、強弱、構成	II(2) I(4) I(7)
	表現(器楽、歌 唱)／6時間	ギターアンサンブルに挑 戦しよう	メロディー、伴奏、ベースラインのパート に分かれて、『Stand By Me』をギターで アンサンブルし、歌と合わせる	●	●	●	●	●	●	●	●					音色、リズム、速度、旋律、 テクスチャ、強弱、構成	I(3)
	鑑賞／4時間	「ラーマ物語」を題材と した各地の芸能を理解 しよう	インド、インドネシア、タイに伝わる「ラー マ物語」を題材とした芸能の鑑賞を通して それぞれの特徴を理解する										●	●	●		音色、リズム、速度、旋律、 テクスチャ、強弱、形式、 構成
1 2 3	表現(歌唱)／ 3時間	様々なフランス語の曲を 歌ってみよう	フランス語の発音に注意し、シャンソンと メロディの特徴の違いを理解して歌う	●	●	●	●									音色、リズム、速度、旋律、 強弱	I(3)
	鑑賞／4時間	登場人物たちが音楽で どのように描写されてい るか理解しよう	オペラ『カルメン』に登場するカルメン、ホセ、 ミカエラ、エスカミーリョが、音楽でどのよ うに特徴的に描写されているかを理解する									●	●	●		音色、リズム、速度、旋律、 テクスチャ、強弱、構成	II(1) I(6)
	表現(器楽)／ 2時間	リコーダーアンサンブル を楽しもう	互いの音を聴き合い、リコーダーアンサン ブルの表現を工夫する					●	●	●	●					音色、リズム、速度、旋律、 テクスチャ、強弱、構成	I(3)
	鑑賞／4時間	オーケストラと独奏楽器 群との掛け合いや対比 を楽しもう	バロック時代の協奏曲の形式を理解し、 独奏楽器の音色の変化を感じ取る									●	●	●		音色、リズム、旋律、 テクスチャ、強弱、形式、 構成	II(1) I(6)
	鑑賞／2時間	ポピュラー音楽の魅力 を感じ取ろう	ジャズやロックを、リズムなどの特徴に気 を付けながら聴く									●	●	●		音色、リズム、速度、旋律、 テクスチャ、強弱、形式、 構成	II(2)、I(6) I(7)、I(8)

音楽Ⅱの 目 標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。	
内容の取扱い (1) 内容のA及びBの指導に当たっては、相互の関連を図るものとする。また、生徒の特性、地域や学校の実態を考慮し、内容のAの(1)、(2)又は(3)のうち一つ以上を選択して扱うことができる。 (2) 内容のBの指導に当たっては、我が国や郷土の伝統音楽を含む多様な音楽文化について理解を深める観点から、適切かつ十分な授業時数を配当するものとする。 (3) 内容の取扱いに当たっては、「音楽Ⅰ」の3の(2)から(8)までと同様に取り扱うものとする。 (音楽Ⅰ 3 内容の取扱い) (2) 生徒の特性等を考慮し、内容のAの(3)のア、イ又はウのうち一つ以上を選択して扱うことができる。 (3) 内容のAの指導に当たっては、生徒の特性等を考慮し、視唱と視奏及び読譜と記譜の指導を含めるものとする。 (4) 内容のAの指導に当たっては、我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を含めて扱うようにする。また、内容のBのエとの関連を図るよう配慮するものとする。		
		(5) 内容のAの(3)の指導に当たっては、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成することを重視するとともに、作品を記録する方法を工夫させるものとする。 (6) 内容のBの指導に当たっては、楽曲や演奏について根拠をもって批評する活動などを取り入れるようにする。 (7) 内容のA及びBの教材については、地域や学校の実態等を考慮し、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽から幅広く扱うようにする。また、Bの教材については、アジア地域の諸民族の音楽を含めて扱うようにする。 (8) 音や音楽と生活や社会とのかかわりを考えさせ、音環境への関心を高めるよう配慮するものとする。また、音楽に関する知的財産権などについて配慮し、著作物等を尊重する態度の形成を図るようにする。
	主な教材	題材の指導内容と学習活動
	主な指導内容	主な学習活動
糸／何度でも／Imagine／からたちの花	・歌詞に込められた思いと曲想とのかかわり ・曲の雰囲気合った歌唱表現 ・楽譜に示された作曲者の意図を生かした表現	・歌詞に込められた思いを感じ取り、声の音色を工夫して音楽表現に結び付けながら歌う ・声の音色や強弱、旋律の特徴などを生かし、曲の雰囲気に合った音楽表現を工夫して歌う ・楽譜に示された作曲者の意図を理解し、自分なりのイメージをもって歌う
うつろの心／女心の歌	・ベルカントの発声法とイタリア語の発音 ・曲想と歌詞が表す情景や心情の表現	・ベルカントの発声法とイタリア語の発音に注意する ・歌詞の内容と音楽とのかかわりを考え、曲想をとらえて、ふさわしい表現を工夫する
文楽『一谷嫩軍記』《組討の段》／『一谷嫩軍記』《組討の段》から	・義太夫節と文楽の歴史と、『一谷嫩軍記』のあらすじの理解 ・太夫と三味線についての理解 ・義太夫節における声の音色や節回しなどの特徴	・日本の伝統芸能の一つである文楽と義太夫節の関係や歴史を理解する ・義太夫節の表現の特徴を理解し、イメージをもって聴く ・義太夫節の声の音色や節回しなどの特徴を感じ取り、表現する
One	・楽器の音色と表現上の効果とのかかわり ・リズムの特徴や曲想の理解と表現の工夫	・グループに分かれ、編成例を参考にそれぞれのパートに合う音色を考え、楽器を選ぶ ・柔らかく弾むスウィングのリズムを感じ取り、ミュージカルでダンサーたちが歌い踊る様子などをイメージして演奏する
時代を超えて鳴り響く《怒りの日》	・グレゴリオ聖歌の《怒りの日》の旋律の理解 ・多くの作曲家が《怒りの日》の旋律を用いていることの理解 ・各作曲家による《怒りの日》の旋律の用い方の違いについての批評	・グレゴリオ聖歌の《怒りの日》の歌詞が表す場面を理解する ・《怒りの日》の旋律が、多くの作曲家にとって創作の源になっていることを理解して鑑賞する ・各曲を聴き比べ、喚起されたイメージなどを自分なりに言葉で表す
BGMをつくらう	・BGMを付ける対象、場面、BGMのタイプの選択 ・サウンド系のBGMもしくはメロディー系のBGMの創作 ・創作したBGMの発表	・サウンド系の場合、打楽器や身の回りの物、ボディパーカッションなどを選んで創作する ・メロディー系の場合、場面の雰囲気に合いそうな音階を選んで創作する ・組み合わせ方、反復、強弱、変奏などを工夫して曲を構成し、BGMを付けた対象とともに発表する
音楽史上の大事件となった『春の祭典』	・リズムとアクセントとの関係の理解 ・不協和な響きの特徴の理解 ・様々な要素に基づく、根拠をもった批評活動	・グループに分かれて、ホルンのリズムと弦楽器群のリズムを打ち、アクセントによる不規則なリズムを理解する ・E♭7とEの和音が同時に鳴らされることにより、不協和な響きが生み出されていることを理解する ・初演時のパレエの振り付けや新聞批評なども参考にして、『春の祭典』について自分の意見を書く
流浪の民	・合唱と独唱のコントラストを生かした表現の工夫 ・歌詞の内容の理解とイメージをもった合唱 ・打楽器を加えた演奏	・合唱と独唱の変化を生かして、曲調にふさわしい表現を工夫する ・歌詞の表す情景を理解して、表現したい音楽のイメージをもって合唱する ・トライアングルやタンブリンなどの打楽器のリズムを工夫して加える
秋の宵	・篠笛の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわり ・鈴と太鼓の音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわり ・イメージをもった和楽器の合奏	・篠笛の音色や奏法を生かして演奏する ・鈴と太鼓の音色や奏法を生かして演奏する ・「作曲者の言葉」や曲想から、イメージを膨らませて和楽器の合奏をする
能『敦盛』／『平家物語』の音楽	・『平家物語』の「敦盛最期」を題材にした能の鑑賞 ・平家『祇園精舎』の鑑賞	・日本の伝統芸能の一つである能の歴史的背景や表現の特徴を理解し、鑑賞する ・琵琶の弾き語りや『平家物語』を語る平家を理解し、鑑賞する
Stand By Me	・ギターの音色や奏法の特徴と表現上の効果とのかかわり ・曲種に応じた発声の特徴と表現上の効果とのかかわり ・各パートの役割や働きを理解した合奏と歌唱	・メロディー、伴奏、ベースラインを分担し、役割に合わせた音色や奏法で練習する ・英語の歌詞を理解して、曲種に適した発声で歌う ・メロディー、伴奏、ベースライン、歌の各パートの役割を理解し、ふさわしい表現を工夫して合わせる
「ラーマ物語」を題材とした芸能	・「ラーマ物語」を題材とした3つの芸能の表現の特徴と、それらの共通点や相違点の理解 ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわり	・物語の情景や登場人物の心情などが、どのような声や楽器の音色で表現されているか比較しながら鑑賞する ・3つの芸能の違いなどについて、鑑賞後に批評文を書いたり、感想を述べ合ったりする
愛の讃歌／夢のあとに	・フランス語の発音とその特徴 ・シャンソンとメロディの雰囲気の違いの理解	・“r”や鼻母音などのフランス語の特徴的な発音に注意して、フランス語らしい発音で歌う ・シャンソンとメロディのジャンルの違いを理解して、それぞれの雰囲気に合った表現を工夫する
4つのアリアの特徴を聴き比べてみよう	・『カルメン』のあらすじと4人の登場人物の性格の理解 ・4人の性格とそれぞれが歌うアリアの音楽的特徴とのかかわり	・前の題材で歌ったシャンソンやメロディと比較しながら、同じフランス語のアリアを聴き、違いを理解する ・それぞれのアリアの特徴を調べ、それらと音楽表現や性格描写との結び付きを理解して鑑賞する
ロンド	・アルトリコーダーの音色の特徴とアンサンブルによる表現上の効果	・互いの音を聴き合い、表現を工夫して、よく響き合うリコーダーのアンサンブルをする
バッハの協奏曲を聴こう／(参考：ヴァイオリン協奏曲の名曲を聴こう)	・バロック時代の協奏曲であるコンチェルト グロソの理解 ・総奏部分と独奏部分の展開や響きの対比の理解	・前の題材で演奏したリコーダーが活躍するバロック時代の協奏曲を聴き、音色の特徴や表現上の効果について理解を深める ・協奏曲の歴史やコンチェルト グロソの構造を理解する ・総奏部分と独奏部分の旋律の違いや調の変化などが楽曲の構造と関係していることを理解して鑑賞する
ポピュラー音楽／音楽の著作権について知ろう	・ジャズの特徴であるスウィングのリズムの理解 ・ロックの特徴である8ビートの理解 ・音楽の著作権の理解	・ジャズとロックのそれぞれの歴史とその編成やリズムの特徴を理解し、両者の違いを踏まえながら鑑賞する ・音楽の著作権について理解する

「高校生の音楽 2」執筆者

〔監修〕

小原光一(元横浜国立大学教授)

〔監修・執筆〕

久保田慶一(国立音楽大学教授)

〔執筆・編集〕

田中多佳子(京都教育大学教授)

児玉竜一(早稲田大学教授)

鹿谷美緒子(作曲家)

長谷部匡俊(作曲家)

〔編集協力〕

相田 豊(東京大学大学院 総合文化研究科)

梶井龍太郎(東海大学芸術学科教授)

川本聡胤(フェリス学院大学准教授)

古賀まみ奈(フラ舞踏家)

薦田治子(武蔵野音楽大学教授)

清水寛二(東京芸術大学非常勤講師)

鈴木裕之(国士舘大学教授)

関根敏子(東洋大学常勤講師)

田村史子(筑紫女子学園大学文学部准教授)

菅木宏幸(ギタリスト)

西川浩平(洗足学園大学専任講師)

Pasinee Sakulsurarat(作曲家)

畑 智子(ロンドン大学 民族音楽学科)

森重行敏(洗足学園音楽大学現代邦楽研究所所長)

吉澤 実(リコーダー奏者)

第1表

高等学校用教科書需要票

見 本

発行者	番号	27	略称	教芸	需要数	生徒用	150	冊	
	教科書	記号	音Ⅱ	番号		309	教員用	2	冊
		書名	高校生音楽 2					計	152

所在地

学校名

電 話

(全日制・定時制・通信制)

指導書の構成 B5判セットケース入、予定価格(本体17,000円+消費税)

●研究資料編

年間指導計画例、複数の学習指導案例を掲載します。授業を多角的にサポートする充実した資料を掲載します。

●楽譜資料編

歌唱教材の伴奏譜、移調楽譜、簡易伴奏、鑑賞曲の資料楽譜などを掲載します。

●指導用・鑑賞用CD 4枚

主な歌唱教材の範唱や参考演奏、原語歌詞の朗読、器楽教材、鑑賞教材を、教科書の目次順に収録します。

西洋音楽の鑑賞全曲収録。世界の諸民族の音楽：特徴を確実に捉える音素材を収録。日本の伝統音楽：聴き所を抜粋で収録。

別売鑑賞参考教材ソフト 定価 各(本体18,000円+消費税)

教科書に掲載されている「日本の伝統音楽」及び「世界の諸民族の音楽」の授業の参考となる資料を販売しています。

高等学校音楽鑑賞DVD

日本の伝統芸能編

- DVD 1枚/収録時間126分
- 雅楽、琵琶楽、能楽、文楽、歌舞伎から14演目(曲)を収録

高等学校音楽鑑賞DVD

民族編

- DVD 1枚/収録時間146分
- 38カ国、59曲を収録
- 民族音楽研究家、江波戸 昭先生の解説付き

音楽鑑賞Blu-ray Disc

世界の民族音楽

- Blu-ray 1枚/収録時間202分
- 49カ国、86曲を収録
- 全ての映像について、研究者によるライナーノーツ付き



株式会社 教育芸術社

- 本 社 〒171-0051 東京都豊島区長崎 1-12-15 TEL. 03-3957-1175(代)
- 中部支社 〒460-0024 名古屋市中区正木4-8-7 れんが橋ビル8F TEL. 052-678-3151(代)
- 関西支社 〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央1-14-17-601 TEL. 06-6943-7245(代)
- 西部支社 〒751-0808 下関市一の宮本町2-7-14 TEL. 083-256-4747(代)

ホームページ・アドレス <http://www.kyogei.co.jp/>